

富士レピオ株式会社【計画登録】 申請内容（申請書からの転記）

登録の区分	計画登録	
全般	申請者名 (計画登録取得者名)	富士レピオ株式会社
	申請代理事業者	戸田建設地球温暖化対策事業チーム
	事業者の主な事業内容	臨床検査薬、検査用機器の製造、販売及び輸出
	申請案件の要旨	環境省・自主参加型国内排出量取引制度（JVETS4 期）や東京都環境確保条例等、八王子事業所で行ってきた継続的な CO2 削減技術の導入、総量規制対策及び排出量取引制度の知見習得などの取組の集大成として、当該事業所から排出される CO2 排出量のニュートラル化を目指すもの。エネルギー（電気・ガス、軽油など）消費に伴う CO2 排出源の算定以外に、スコープ 3（製品の輸送、社員の通勤など）に関する評価方法をまとめ検証までのプロセスを試行する。
	組織等の境界	JVETS の MRG の工場・事業場の定義にそって設定された工場・事業所（八王子事業所）
	活動の境界	【スコープ 1】 ・燃料の燃焼 ・ドライアイスの使用 【スコープ 2】 ・他人から供給された電気の使用 【スコープ 3】 ・（自社）営業活動・出張 ・（自社）雇用者の通勤
	算定対象範囲	スコープ 1、2 及びスコープ 3
	CN 対象期間	2012 年 4 月～2013 年 3 月までを予定
	CN 計画期間	2012 年 2 月 29 日～2013 年 9 月 30 日
	認証の有効期間	2013 年 10 月 1 日～2014 年 9 月 30 日（予定）
	認証ラベルの使用用途	出荷する製品への表示、所属社員の名刺への記載
排出量の認識	算定対象範囲における温室効果ガス排出源	燃料の燃焼、他人から供給された電気の使用、ドライアイスの使用
	算定方法	GHG 排出量 = 活動量 × 単位発熱量 × 排出係数 3EID（2005 年版）より算出（スコープ 3）
	基準年排出量	3,214t-CO2
	対象期間排出量	2,367t-CO2
	（任意）スコープ 3 排出量の算定結果	72.0t-CO2
排出削減	組織等の境界内における温室効果ガス排出削減	計画的な省 CO2 対策工事の推進、省 CO2 機器の導入、見える化システムの導入など

	減の取組	
	(任意)組織等の境界外における申請者(認証取得者)自身の排出削減の取組	未定(認証申請時、記入)
	(任意)スコープ3排出量の削減の取組	公共交通機関の利用
埋め合わせ	認証制度名	J-VER 制度、国内クレジット制度、京都メカニズム
	クレジットの種類	J-VER、国内クレジット、CER(予定)
	プロジェクト名(プロジェクト実施国・実施地域を含む)	未定
	プロジェクトタイプ	排出削減プロジェクト
	無効化日	2013年6月末日予定